

# 連合中越地協「四役等新春対談」

## 2014年事始め、重点課題・産別課題等々を大いに語り吹く



第810号2014.1.21  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費に含む



2014年の連合中越地協は仕事始めにあり、1月7日(火)17時から恒例の地協四役新春対談(通称・吹く会)を行った。この対談には、SJネット委員会石塚委員長と齋藤事務局長が加わって重点課題・産別課題等あることない事を吹きあつた。

◆矢島議長  
新春対談は、連合中越地協の仕事始めだ。恒例の地協四役に、石塚SJネット委員長・齋藤事務局長を加え総勢9名となった。

◆羽賀副議長  
明けましておめでと  
うございます。

新年という織田信長が歳男だったようだ。他に、田中角栄等世の中を動かした面々がある。消費増税もあるが、プラス思考で生活が豊かになる年と

なっている。前半にはソチ五輪やFIFAワールドカップ、県内的には選抜高校野球大会でわくわくドキドキする年だ。

年頭には目標をたてるだろうが、今までと「違う何かをしよう」とすると成就するケースは稀のようだ。成就する方は、それなりに努力したり、全く従前と違う形で努力する。気持ちだけで目標到達できない。

我々の春闘、労組の



運動も、意気込みだけではうまくいかない。何か形を変えてやってみる。運動そのものも形骸化してくる。内容を工夫し、組合員の気持ちを揺り動かすための取り組み方を考えていこう。納得がいつた活動ができたというように、なにかをしないといけない。目標を「達成するんだ」という意識を持って、じゃあ具体的にどう取り組むかしっかり議論して進めたい。

まず、春闘だ。「今年こそは」の思いだけで成就しない。労組の実行力が試される年となる。「アベノミクスで賃金改善を」という事を経営側以外はすべて言っている。

◆小堺副議長  
電機は組織拡大と男女平等参加が課題だ。春闘は、一昨年・昨年

とも賃金体系維持だったが、今年にはベア要求の方向にある。組織拡大は、非正規社員の組織化と雇用延長者への取り組みを行う。業態は比較的良好な状態にしているが、コスト削減等の企業努力で利益を出している状況だ。

◆火山副議長  
民間化後組織統合したが現場に課題があり、総括する方向にある。また、65歳までの雇用として再雇用者や期間雇用者への対応

◆田野副議長  
求めた。政治意識を話しているところへ田野副議長が到着。早速、課題を



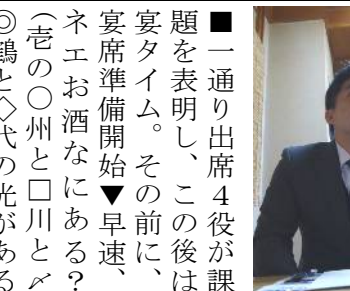
◆田野副議長  
求めた。政治意識を話しているところへ田野副議長が到着。早速、課題を

◆小堺副議長  
電機は組織拡大と男女平等参加が課題だ。春闘は、一昨年・昨年

◆田野副議長  
求めた。政治意識を話しているところへ田野副議長が到着。早速、課題を

◆田野副議長  
求めた。政治意識を話しているところへ田野副議長が到着。早速、課題を

◆田野副議長  
求めた。政治意識を話しているところへ田野副議長が到着。早速、課題を



◆田野副議長  
求めた。政治意識を話しているところへ田野副議長が到着。早速、課題を

◆田野副議長  
求めた。政治意識を話しているところへ田野副議長が到着。早速、課題を

◆田野副議長  
求めた。政治意識を話しているところへ田野副議長が到着。早速、課題を

サラリーマン川柳(風邪気味だ なぜかうれしい 月曜日)(豪華弁 今日の子供の 弁当日)(逆らわず いつもニコニコ 従わず)(また出たか 暇な上司の 思いつき)

サラリーマン川柳 (この鎖たしか昔の赤い糸) (夕焼けを通勤電車で見てみたい) (「担当が変わったばかりで」と三年目) (訪問者ペットはほめて子はほめず)

# 連合小千谷支部だより

今回は12月10日に「わたや 本店」で行いました「新旧役員引き継ぎ会」について報告致します。

当日は新旧役員を合わせ22名の参加がありました。席では今年度の活動についての話しなどが出たりし、有意義な引き継ぎ会となりました。今回退任されます小林支部長、佐藤副支部長、大塚副支部長ならびに幹事の皆様、2年間大変お疲れ様でした。

小千谷支部は今後も地域に根ざした活動を行ってまいりますのでご協力をお願い致します。



# 連合中越加盟単組紹介

— 原信労働組合 —



原信は、新潟県内に52店舗、富山・長野に6店舗出店しており、食品を中心としたSMのリージョナルチェーンを目指しています。7年前に上越地域が地盤のナルストと、そして昨年10月には群馬県が地盤のフレッシュホールディングスと経営統合し、持株会社『アクシアル リテイリンググループ』が発足しました。その中心的役割を担う事業会社として(株)原信があり、原信労働組合が存在します。

組合員数6,000名を超え、規模だけでは大所帯になったわけですが、どこの組合も抱えている“すべての組合員が自覚と責任をもった組合活動への参加”が叶わないところが組織の課題でもあります。

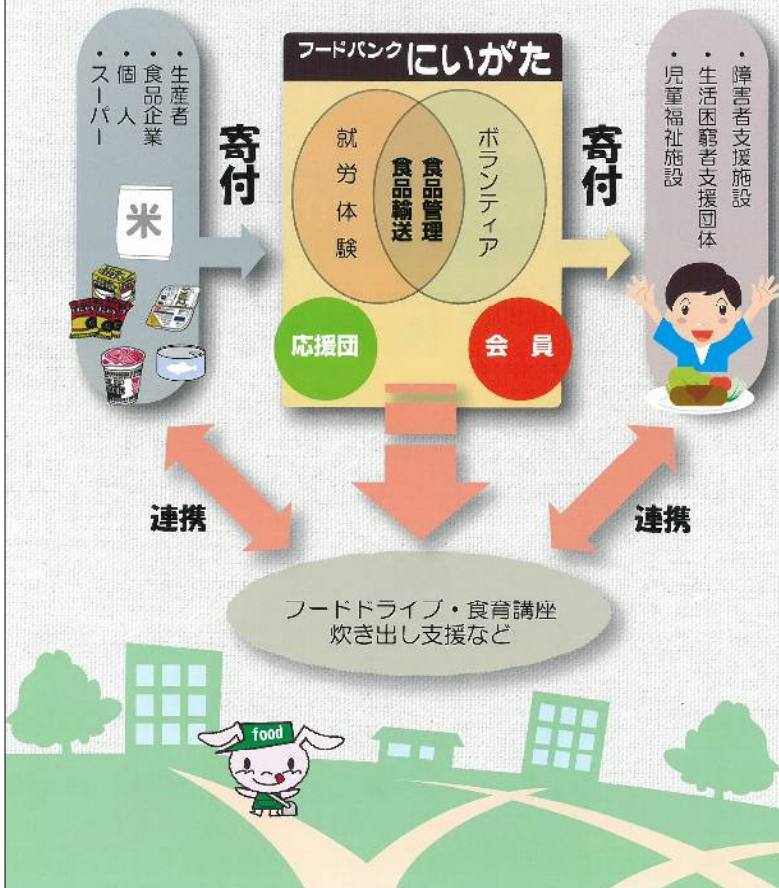
そこで力を発揮しつつあるのが、ハートフル・チャレンジ委員会(青年部)とパートナー委員会(パート対策部)です。まずはやる気のある人にミッションを託し、達成感を感じて頂いて、更にその喜びを他者へと伝道することがメンバーの大きな使命でもあります。

常日頃から「責任は俺が取る。だから思い通りに行動しなさい」という信念の基に彼ら彼女らに存分にキャンパスに絵を描いてもらっています。仕事ではこんな放任は許されなくなってきましたが、だからこそ、組合活動で存分に個性を発揮してもらいたいのです。いつか花咲く時を願いながら…です。



# 「フードバンクにいがた」ってどんなところ?

フードバンクにいがたは、新潟市での活動を中心としつつ、新潟県における食のセーフティネット(安全網)を支えるフードバンクシステムを構築し、市民・行政・企業・福祉施設の皆さんと協同し、食べ物が無駄なく消費され、誰もが食を分かち合える、心豊かな社会づくりを目指していきます。



# 「フードバンクにいがた」に参加するには

## ①食品の協力

活動に賛同し、食品のご寄付をいただける個人・企業・団体を募集しています。印字ミスや箱崩れ品、まだ食べられるのに眠っている食品はありませんか?

- ①未開封品
- ②産地が特定できる品(米、野菜)
- ③賞味期限が最低2か月以上ある食品
- ④常温保管が可能なもの

## ②運営協力

フードバンクにいがたは、会員の皆様からの会費で活動をしています。個人会員 年会費 1口 2,000円 団体会員 年会費 1口 10,000円

口座: 新潟県労働金庫 新潟南支店 口座番号: 普通 5621607  
口座名義: フードバンクにいがた 代表 高見 優

## ③ボランティア協力(フードバンクにいがた応援団)

食品の計量、配達、フードドライブのお手伝い等、お気軽にご参加ください。また、ポスター掲示等の広報活動にご協力いただける団体・個人の方も募集しています。

## ④フードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、食料の確保が困難な方々を支援するための活動です。アメリカで1960年代から始まりました。フードドライブ(food drive)のdriveは、この場合は目的を達成するための運動やキャンペーンを指します。たとえば、お祭りの1コーナーで、リサイクル活動の一環として、人が集まる会議やイベントでフードドライブを実施しませんか? 実施できる場所・企画がありましたら、ぜひフードバンクにいがたにお声掛けください!

食品の寄付、運営協力、各種ご相談は「フードバンクにいがた」までお気軽にご連絡ください。

